

「ピーチェック！」結果報告書



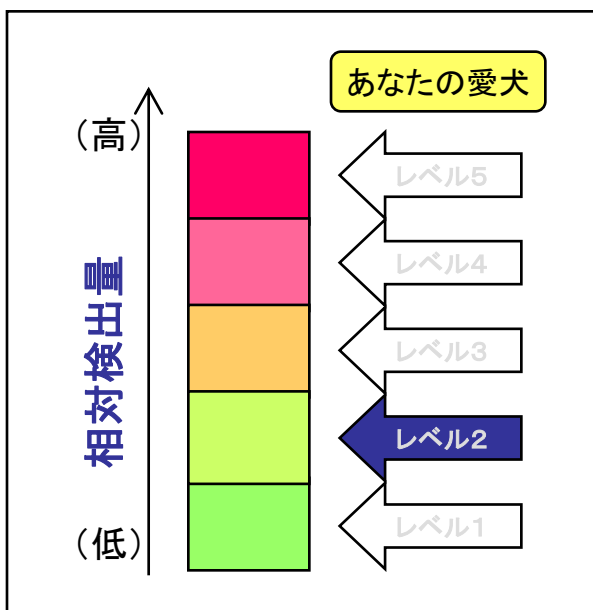
佐藤 マロン ちゃん (6歳)

採尿日: 2008年 10 月 4 日

あなたの愛犬のストレス

レベル 2

尿中アルデヒド検査結果



この検査では、体内の酸化ストレスが高まると尿中に排出されてくるマーカーとして知られる「アルデヒド」という化学物質の量を測定しています。

ストレスは短時間でも急激に高まる場合がありますが、継続的にストレスマーカーが検出される場合や高い値を示した場合には、疾患との関連も疑われますので注意が必要です。

* ストレスレベルについて
尿中アルデヒド測定値(クレアチニン補正)から標準偏差を取得し、スタンダードスコアに基づくレベル分けをしています。全体のうち、各レベルは以下の割合を占めています。
レベル1: 16%、レベル2: 34%、レベル3: 34%、レベル4: 14%、レベル5: 2%

レベル1

今回の測定で検出可能な反応は見られませんでした。ストレス状態ではないようです。

レベル2

微量ながら反応が見られました。ごく小さなストレスを受けているかも知れません。

レベル3

明らかな反応が見られました。ストレス要因が疑われますので、解消に努めましょう。

レベル4

強い反応が見られました。健康に影響することもあるので、原因を取り除いてください。

レベル5

大変強い反応が見られました。疾患と関係している可能性もあるので、注意が必要です。

愛犬にストレスを与えないために

- ・食物は体内の酸化ストレスに敏感に影響します。食事の素材にも気を配りましょう。
- ・ストレス解消には適度な運動が必要です。お散歩が不足していることはありませんか？
- ・スキンシップはうまく行っていますか？ワンちゃんの気持ちを理解する努力も忘れずに。
- ・嫌がることは避けましょう。何かを恐がったり、怯えたりすることはありませんか？
- ・住環境を再確認。騒音や強い光などでワンちゃんが落ち着かないことはありませんか？

病気とストレスは切り離せないものです。

愛犬がいつまでも元気でいられるよう、ストレス管理にも気を配りましょう。